

## 科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

ハイテク中小

近年、台湾の科学技術イノベーション力が世界から注目される。最先端半導体製造拠点であり、昨年から続くコロナ禍ではデジタル民主主義の浸透によるパンデミック対策が最も成功した事例の一つとして脚光を浴びた。その中心的な役割を果たしている組織の一つが、公的研究開発機関である台湾工業技術研究院（ITRI）である。

ITRIは1973年に台湾経済部（日本



科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター  
フェロー（海外動向ユニット）

張智程

# ITRI 台湾のイノベ支える

台湾生まれ、京都大学博士（法学）。労働市場や科学技術イノベーションをめぐる法政策研究に従事し、京大大学院法学研究科助教、米ハーバード大学フェアバンク研究センター客員研究员、政策研究大学院大学台灣フェローを経て、19年秋より現職。

2030技術戦略ロードマップ (2030技術策略與藍圖)	
重点分野	要素技術
スマートリビング (Smart Living)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人化されたデバイスとサービス</li> <li>自動運転</li> <li>スマート産業とサービス</li> </ul>
品質の高い健康生活 (Quality Health)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマート医療</li> <li>健康と介護</li> </ul>
持続可能な環境 (Sustainable Environment)	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環型経済に資する技術</li> <li>スマート製造技術</li> <li>グリーンエネルギーと環境技術</li> </ul>
スマート化を可能にする技術 (Intelligentization Enabling Technologies)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工知能(AI)技術</li> <li>次世代半導体技術</li> <li>次世代通信技術</li> <li>サイバーセキュリティーとクラウド</li> </ul>

「2030技術戦略ロードマップ（2030技術策略與藍圖）」を公表した。デジタル変革（DX）から超高齢化社会、グリーンテクノロジーなど世界共通の研究開発トレンドに乗る一方で、引き続き最先端半導体製造技術の強みを生かして、台湾を世界で最もイノベーティブなテクノハブとする」とを目標としている。

と、副院長の張培は分析している。020年11月、Iは今後10年間の030技術戦略マップ（NO30策略與藍圖）」をした。デジタル麥DX）から超高齡会、グリーンテクノジーなど世界共通研究開発トレンドに一方で、引き続き端半導体製造拠点世界で最もイノベイブなテクノハブのことを口指して。（金曜日に掲載）

計318社のIT発ハイテク企業のに成功を収めてき TRIの研究開発の特徴は、基盤的 た産業構造を持つ台湾

「技術コンセプトの実験的な証明」からべ ル8「システムの完成 および検証」である。 中小企業を主体とし た産業構造を持つ台湾

けを確固たるものとし、限られた資源を最大限効率的に活用するために、多角的・戦略的な研究開発を実施している。

策動向把握③10年後の判断して次世代の重点でいるため、「ふくしまグローバルマーケット研究開発課題を抽出した情報網を通じて産業の需要予測④台湾のイノベーションエコシステムで交わされる情報生かし小規模で顔の見ている。台湾の特徴を界の研究開発需要を的ノームで構築される」とが成功の要因である」と、副院長の張培の収集から総合的にツトワークが構築されると、副院長の張培